

# 天王中学校だより 10月号

令和5年10月3日

<めざす生徒像>

校長 浅香 健一郎

いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒

「あ」いさつ・「ま」もる・「え」がおて 1日を!

10 第47回体育大会



適度な雲が暑さを和らげる天候で、9月28日(木)に予定通り第47回体育大会を実施しました。

体育委員を中心に積み上げてきた努力という準備期間を経て、ついに当日を迎えました。

仲間が走る姿、跳ぶ姿、リレーバトンをつなぐ姿の一挙手一投足に、応援席からの応援・掛け声。走っている最中のしんどくなる場面でも、仲間からの応援があったからこそ、自分の限界を超え、頑張ることができた場面もあったはず。観ている側の心を打つ美しいシーンの連続でした。



綱引きや大縄跳び、学年リレーなどみなさんの忘れられない思い出になったことでしょう。特に、3年生は最後の体育大会。1・2年生の見本として、リーダーとして魅せる姿がとてまかつよかったです。中でも、やはり集団行動に触れないわけにはいきません^^。

3年生全員で整えた行進、一糸乱れぬ交差、「回れ右!」からのウェーブ「NAMIASHI」など、突然の機器トラブルに動じることなく、集団行動で示してくれました。またアップテンポで爽快なナンバー、ワンDの名曲「Live While We're Young」に合わせて、一円に広がったダンスも見ものでしたね。



体育大会に向けて、たくさんの努力や我慢、もしかしたらクラスの仲間との衝突もあったかもしれませんが、一つ一つを乗り越えて、やり切ったと思える達成感を感じているのならば、それが本当の意味での行事の成功だと思います。サポートしてくれた先生方も含め、生徒のみなさん本当にお疲れさまでした!



## 2 『2学期は Challenge を!!』の続き ～「やった」より「やらなかった」後悔が大きい訳～

始業式や先月号(9月号)で、『2学期は「意思をもって、Challenge (チャレンジ) しましょう!』とみなさんにお話しました。「やるかやらないかを迷ったら、やるほうを選びましょう。」ともお話しました。(しつこくてすみません。) このことについて関連する内容が、今読んでいる本に書いてありました。↓

「やってしまったことを悔やむよりも、やらなかったことを悔やむ場合の方が、人は気持ちを引きずってしまう傾向が多い。」とのこと。… では、なぜでしょうか??



恥ずかしげもなく学者になりきって、解説してみましょう…。「確認バイアス」という心理学の言葉があり、これが大いに関係しているとのことでした。思い込みや願望を強くする情報ばかりに目が行き、自分の思いに否定的な情報は軽視してしまう傾向のことを確認バイアスと言います。

例えば…の話です。欲しかった高額な自転車を買ったとします。人間の深層心理では、購入後もその自転車がいかにも良い商品であるかという Good 情報を積極的に取り入れる一方で、乗りにくいとか、ペダルが滑るという否定的な Bad 情報については、無意識のうちに排除してしまう心理が働くのだとか。そして、やっぱり高かったけどこの自転車を買った決断は間違っていなかったと確認バイアスが働くのだそうです。

学校生活でも同じようなことがありますか。目標に向けてやり切った!とき、「この判断は間違っていなかった」という情報を集めるため、悔いは少ないですね。逆に、「しなかった」後悔の場合、「〇〇してればよかった」とか「なんでやらなかったんだろう」と、良い結果を思い描いて考えてしまうため、後悔が積もっていくのです。



体育大会で感じたはず、「やりきって良かった!」という達成感を。もしくは「もっとこうすればよかった。」という悔いを。2学期はまだまだ続きます。前者の「Challenge!!」「やりきった!!」というシーンをたくさん感じられる天王中学校でありたいですね。

## 【10月-October-】

- ・20(金)天フェス PTA 臨時総会
- ・25(水)中学校連合音楽会
- ・30(月)生徒会本部選挙
- ・31(火)授業参観



## 【11月-November-】

- ・2(木)~9(木)3年教育相談
- ・9(木)1年校外学習
- ・9(木)~10(金)2年職業体験
- ・13(月)3年実力テスト
- ・14(火)避難訓練
- ・21(火)~24(金)期末テスト

